

JAPAN

2連覇を達成した20人

2連覇を飾ったサッカー男子・日本代表。その20人+5人のスタッフをここでは紹介したいと思う。そしてここでは大会を通しての本誌MVPも選出。駒大の選手といきたいところだが駒大の選手は出場時間が短く今回は選出を見送った。今大会、本誌選ぶMVPは攻守で活躍を見せた保坂一成選手（東京学芸大学）で決まり！



本誌MVP

東京学芸大学
保坂 一成(3年・MF)

ほさか かずき/東京Vユース
出身・①439分②一
◆なか一日という強行日程のなかでフル稼働し、攻守において貢献した。高い守備能力はもちろん持ち前の展開力も光った。

◆監督◆

◆西田裕之<奈良産業大学>
①昭和34年4月25日
②179cm・75kg
③監督
④2連覇を達成した手腕は賞賛されて然るべき。

◆コーチ◆

◆宮崎純一<青山学院大学>
①昭和38年8月24日
②168cm・75kg
③コーチ
④メンタルトレーニングなどをチームに導入。影でチームを支えた。

◆コーチ◆

◆神川明彦<明治大学>
①昭和41年7月9日
②176cm・76kg
③コーチ
④チームに活気をもたらし、2連覇に貢献。

◆GKコーチ◆

◆柳楽雅幸<横浜マリノス>
①昭和33年8月25日
②189cm・93kg
③GKコーチ
④塩田などのハイパフォーマンスを支えたGKコーチ。

えぞえ けんじろう/玉野光南高校出身・①360分②一
◆高さに加えスピードのある江添は途中からレギュラーに定着し見事鉄壁のディフェンスを築き上げた。

桃山学院大学
江添 健次郎(3年・DF)

順天堂大学
堀 健人(3年・MF)

ほり けんと/広島皆実高校出身・①386分②2得点1アシスト
◆彼もMVP候補の一人。得点やアシストも苦しい時間帯のものがおおく勝負強さを見せてくれた。

◆トレーナー◆

◆徳山真也<小守スポーツマッサージ病院>
①昭和39年8月20日
②173cm・78kg
③トレーナー
④選手がベストの力を出せたのはこの人のおかげ。

駒澤大学
原 一樹(1年・FW)

はら かずき/市立船橋高校出身・①130分②2得点
◆そのスピードは世界の舞台でも度肝を抜いた。唯一の一年生ながら得点も記録し、その活躍が認められこの後U-20日本代表候補にも選ばれている。

たしろ ゆうぞう/福大滝高校出身・①359分②1得点1アシスト
◆強靱なボディバランスで攻撃の核となりチームを引っ張った。成績には表れていないが貢献度はかなりのもの。

福岡大学
田代 有三(4年・FW)

国士舘大学
村山 祐介(4年・DF)

むらやま ゆうすけ/ジュビロユース出身・①450分②1アシスト
◆本来はセンターバックだがこのチームではなんなくサイドバックをこなして見せた。左足から繰り出されるロングボールは何度となくチャンスを出した。

ひょうどう あきひろ/八千代高校出身・①92分②1得点1アシスト
◆出場時間は短かったものの結果を出して見せた。

筑波大学
兵働 昭弘(3年・MF)